



チャレンジキャンプ2023

～仲間と共に踏み出す「自分の一歩」～

実施期間：令和5年7月 8日(土)～7月9日(日) 事前キャンプ
7月29日(土)～8月6日(日) 本キャンプ

目的・趣旨

- 参加者の「自己肯定感」を育成する。
本事業における「自己肯定感」とは、以下の2点としてとらえる。
 - ・ 自己を見つめ、自分の長所と短所、自信のあるところと、ないところの両方を受容し、体験をもとに、自らの成長を振り返り、自分を好きになること。
 - ・ 他者とのかかわりを通じて、他者の感性や考え方に触れ、理解したり、他者から学んだりして、自らを高めていくこと。
- 参加者の量的・質的変容等を調査分析し、その効果について普及する。
- 様々な課題を抱える子供たちやその周りの子供たちへの効果的な支援の在り方を検証し、学校現場へ発信する。

事業概要

【参加者数】 14名（小学校5年生～中学校3年生）、2グループ編成

【実施内容】

		ステージ（日にち）	主な活動内容	移動距離	宿泊地
事前 キャン プ	準備の ステージ	7/ 8（土）	全体会、テント設営・野外炊事		自然の家
		7/ 9（日）	藤巻山登山、全体会		
本 キャン プ	出合いのステージ	7/29（土）	開会式、徒歩での移動	約13.5km	キャンプ場
	協力の ステージ	7/30（日）	徒歩での移動	約28.0km	自然の家
		7/31（月）	徒歩での移動	約15.6km	キャンプ場
	自立の ステージ	8/ 1（火）	カヤック・SUP体験（野尻湖）	約3.6km	キャンプ場
		8/ 2（水）	徒歩での移動	約21.0km	キャンプ場
	挑戦の ステージ	8/ 3（木）	火打山登山	約10.4km	ヒュッテ
		8/ 4（金）	妙高山登山	約10.5km	自然の家
	未来につなげる ステージ	8/ 5（土）	片付け、振り返り		自然の家
8/ 6（日）		片付け、閉会式			

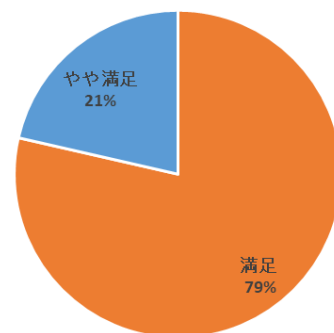
事業のポイント

- 個に応じた支援を行うとともに、参加者一人一人が達成感を味わえるようにする。
- 本キャンプ全行程を5つのステージ（事前キャンプ1ステージ）に分け、その中で体験が次の学びに生かされるようにプログラムを構成し、参加者が自分の成長を実感できるようにする。
- 徒歩での移動や野外炊事など、同じ活動を繰り返すことで、その経験が蓄積され、子供たちが主体的に取り組むことにつながると考える。また、メニューや調理方法、食材の選択、買い出しなど、ステージの変化とともに段階的にねらいを設定していく。
- 「安全第一」を大原則とし、安全に関する介入は最優先事項と考える。リスクマネジメント一覧表を作成し、スタッフ間で共有する。
- 1グループにキャンプカウンセラーを2名（自然の家職員1名、学生スタッフ1名）配置し、健康管理・安全管理・記録にあたる。

成果

- 参加者の事業全体をとおした満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて100%となった。
- チャレンジキャンプのビックチャレンジとも言える火打山・妙高山の縦走登山をはじめ、100kmもの道のりを歩ききったことによる達成感や充実感を得たことが参加者の自信につながり、仲間と共に協力してキャンプを行ったことが他者に対する意識の向上につながった。

参加者満足度



事業の様子



妙高山山頂



野尻湖を臨む湖楽園キャンプ場



カヤック・SUP体験



険しい山道を一步一步進みます

参加者の声

- がんばったことは100kmを歩ききったことです。本当に100kmを歩いてとてもうれしいし楽しかったです。
- 前までは思ったことが言えなかったけど、自信がもてて思ったことが言えるようになった。

課題

- 夏の暑い時期の徒歩移動となるため、実施時期やルートを検討が必要である。
- 危険度の高い活動もあるため、スタッフの安全意識の向上や実地踏査が必要不可欠である。

☆二次元コードを読み取ると、詳細な報告書をご覧いただけます☆→

URL https://myoko.niye.go.jp/result/pdf/r5_myoko_challengecamp2023_data.pdf

